

日本庭園の空間要因に着目した都市空間における水景施設

茨城大学 学生員 田村 大輔

茨城大学 正会員 志摩 邦雄

茨城大学 正会員 小柳 武和

1. はじめに

都市の中で見られる水景施設は、海外の庭園で用いられた整形式のものがほとんどであり、同じように優れた水辺デザインをもつ日本庭園の要素を用いたものはあまり見られない。日本庭園は、時代の深み、歴史といった要素をもつ。こういった要素を、都市空間の一部である水景施設に取り入れることによって、都市の中に、「やすらぎ」や「ゆとり」といったものを感じさせる空間を創造できるのではないかと考える。そこで本研究は、水景施設と日本庭園(以下、庭園)を視覚的・意味的構造によって分類・整理し、空間要因の抽出を行い、日本庭園のもつ空間要因を取り入れた都市空間における水景施設の提案の2点を目的とする。

2. 水景施設基本分類

水景施設を分類・整理するにあたり、視覚的構造と意味的構造によって水景施設を捉えることとした。視覚的構造に関しては、水の演出形態の基本形である4つの動き(噴、落、溜、流)をキーワードとし、それらを組み合わせることで全ての視覚的構造を分類することが可能である。意味的構造に関しては、水辺に関する意味付けを表す言葉を選出し、7種のキーワードを組み合わせることで水景施設を分類する。

表-1 視覚的・意味的構造基本分類

キーワード	動き・表情	事例数	割合
視覚的構造	噴	39	18%
	落	31	15%
	溜	82	39%
	流	60	28%
合計		212	100%
意味的構造	観賞	84	46%
	効果	12	7%
	自然	30	16%
	文化	2	1%
	用途	10	5%
	レクリエーション	29	16%
合計		184	100%

また、水景施設の空間要因を抽出するに当たり、景観関連の文献に掲載されている記事や広告の写真などから水景施設の事例115件を収集し、分類キーワードを用いて分類・整理を行った(表-1)。

3. 水景施設からの空間要因の抽出

3-1 視覚的構造・意味的構造による利用現況

事例数115の水景施設を視覚的構造により分類し、利用現況を把握した。その結果、「溜」の利用割合が39%と1番高く、次いで「流」の割合(28%)が高くなっており、全体の67%を占めている。これは、「溜」の視覚的構造が単体で存在するだけでなく、他の視覚的構造と相性が良く、組み合わせて使用されていることを示している。また、「噴」や「落」が単体では存在しにくいことも理由の一つであると考えられる。

また、水景施設を意味的構造によっても分類し、利用現況を把握した。その結果、水景施設では「観賞」(46%)が半数近くを占めているのが特徴的であり、水景施設の設置目的の大半が、観賞目的であると言える。また、「レクリエーション」(16%)の占める割合の高さは、親水活動を誘発するものと考えられる。

3-2 水景施設のもつ空間要因

視覚的構造、意味的構造の相互関係(図-1)により、「観賞」がどの視覚的構造においても利用されやすいの分かる。また、「レクリエーション」が、どの視覚的構造においても多数利用されていることも、注目すべき点である。以上のことから、水景施設のもつ要因を分類し、水景施設のもつ空間要因を抽出した(表-2)。

4. 日本庭園からの空間要因抽出

庭園を構成する上で必要となる要素を事例から142抽出し、それらをねらっている効果により分類すると、自然表現、思想表現、実用、演出、その他の5種に大別され、さらに17の効果に細分類できた。これらをキーワード：水景施設、日本庭園、空間要因

空間要因として整理すると表-3 のようになる。

5．水景施設・庭園のもつ空間要因の分析

抽出した水景施設・庭園のもつ空間要因を、マトリクスを用いて分析した。マトリクスの横軸には、水景施設・庭園の空間要因を用い、同義語は整理した。縦軸には、人々の視覚、聴覚、触覚および、それらが複合的に働いて影響を受ける心理の4つの影響要因を用いた。そのマトリクスによって傾向の強かったものを表-4に示す。水景施設は、空間要因からみると、「自然表現（9.8％）」、「主演出形（8.4％）」、「観賞（34.7％）」、「レクリエーション（21.1％）」が高い割合を占めている。これらは、水景施設自身が空間の中心となる要因であるため、水景施設の一つの特徴が伺える。それに対し庭園は、「自然模倣形（8.2％）」、「思想表現（9.0％）」、「実用（10.6％）」、「補演出形（9.3％）」、「観賞（21.0％）」といった空間を支える要因が強く反映されている。

6．庭園のもつ空間要因に着目した水景施設

6-1 空間要因からみた水景施設の留意点

水景施設が景の中心となる傾向が強いので、目的によって周辺環境との調和に配慮する必要がある。

水景施設のもつ空間要因は多様であり、水の持つ魅力を感じさせる場合、幾つかの要因を考慮する必要がある。

6-2 庭園の空間要因を取り入れた水景施設の提案

「補演出形」、「自然模倣形」といった庭園のもつ空間要因を取り入れる事により、周辺環境に左右されにくい空間を創り出すことが可能になる。

「自然模倣形」、「迫力形」、「静寂形」といった庭園のもつ空間要因を取り入れる事により、表情の豊かな水景施設空間を創りだすことが可能になる。

7．おわりに

本研究では水景施設の視覚的・意味的構造による分類・整理を行い、それにより水景施設のもつ空間要因を10種抽出できた。また、日本庭園の構成要素の効果による分類・整理から日本庭園のもつ空間要因を17種抽出することができた。また、抽出した空間要因を比較・分析することにより水景施設の留意点と提案を行った。

今後の課題としては、アンケート調査や心理実験などによる空間要因の評価を行う必要がある。

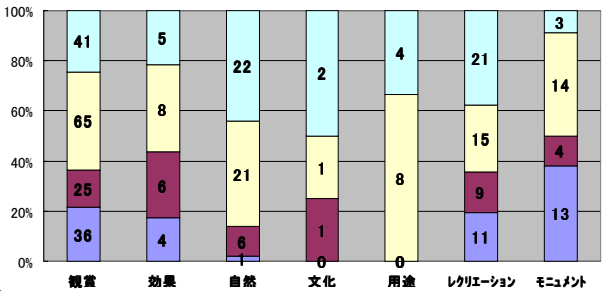


図-1 視覚的・意味的構造の相互関係

表-2 水景施設のもつ空間要因

空間要因	効果	事例数	割合
観賞	観賞目的のもの	101	54.9%
	モニュメントとしてあるもの		
効果	あるものを引き立てるためにあるもの	12	6.5%
	演出効果のあるもの		
自然	自然	30	16.3%
	自然想起		
	自然を想起させるもの		
	自然空間		
文化	その土地の文化に関係しているもの	2	1.1%
用途	ある用途のために必要となるもの	10	5.4%
レクリエーション	水を使って遊びのできるもの	29	15.8%
合計		184	100.0%

表-3 日本庭園のもつ空間要因

空間要因	効果	事例数	割合
自然表現	自然そのものを表したもの	28	19.7%
	自然模倣形		
	本質的のものは変えず自然を模したもの		
	自然象徴形		
思想表現	採集環境	24	16.9%
	思想を表現したもの		
	神界模倣形		
	神の世界を表したもの		
実用	折願形	24	16.9%
	願いの込めであるもの		
	逸話形		
	逸話を表しているもの		
演出	演出効果を持つもの	39	27.5%
	主演出形		
	そのもの自身が主となっているもの		
	補演出形		
	演出効果を高めるもの		
	実用演出形		
その他	迫力形	27	19.0%
	動的な動きをもつもの		
	静寂形		
	静的な動きをもつもの		
合計	見えがくれ	27	19.0%
	その他のもの	142	100.0%

表-4 空間要因の傾向

空間要因	自然表現		自然模倣形		思想表現		実用		主演出形		補演出形		実用演出形		迫力形		静寂形		観賞		モニュメント	
視覚的要因	21	8	10	20	1	17	12	23	21	11	12	25	0	10	1	5	0	3	83	78	18	3
	10.9%	3.4%	5.2%	8.4%	0.5%	7.2%	6.2%	9.7%	10.9%	4.6%	6.2%	10.5%	0.0%	4.2%	0.5%	2.1%	0.0%	1.3%	43.0%	32.9%	9.3%	1.3%
聴覚的要因	0	0	0	9	0	0	0	0	3	11	1	0	0	0	0	5	0	3	8	0	2	0
	0.0%	0.0%	0.0%	31.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.8%	37.9%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.2%	0.0%	10.3%	50.0%	0.0%	12.5%	0.0%
触覚的要因	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
心理的要因	7	0	1	2	0	17	0	17	0	0	8	10	3	9	0	5	0	3	8	1	0	0
	13.7%	0.0%	2.0%	2.4%	0.0%	20.5%	0.0%	20.5%	0.0%	0.0%	15.7%	12.0%	5.9%	10.8%	0.0%	6.0%	0.0%	3.6%	15.7%	1.2%	0.0%	0.0%
合計	28	8	11	31	1	34	12	40	24	22	22	35	3	28	1	15	0	9	99	79	20	3
	9.8%	2.1%	3.9%	8.2%	0.4%	9.0%	4.2%	10.6%	8.4%	5.9%	7.7%	9.3%	1.1%	7.4%	0.4%	4.0%	0.0%	2.4%	34.7%	21.0%	7.0%	0.8%

《参考文献》1)早福 隆介:水景施設の空間構成とイメージ、平成 10 年度茨城大学修士学位論文、1999。2)藤原 宣夫:都市に水辺をつくる、技術書院、1999。3)日本造園学会:造園作品選集 2、p46、56、1994。4)飛田 範夫:日本庭園と風景、学芸出版社、1999。5)上原 敬二:日本式庭園・各種庭園、加島書店、1995